

矢作川カーボンニュートラルプロジェクトにおける新技術の募集について

2021年11月29日

【募集内容】

本プロジェクトの概略検討にあたり、本プロジェクトへの導入を推進していくことが望ましいと思われる、以下の検討分野における、カーボンニュートラルの実現に資する技術・取組を募集するものです。

【検討分野について】

検討分野は、(1)河川(2)既存ダム活用(3)森林保全(4)農業施設(用水路、ため池等)(5)水道及び工業用水道施設(6)下水道施設(7)分野横断的な対策 の7分野を対象としています。他の分野で現在活用している技術であっても、本検討分野での活用が想定される技術・取組も対象とします。

※「矢作川カーボンニュートラル(CN)プロジェクト」に着手します(9/1 発表済み。)参照

【募集期間】

2021年11月29日(月)から2021年12月13日(月)まで

【提出方法】

『回答フォーム』をダウンロードし、記入の上、電子メールに添付の上、概略検討の業務を受託した「有限責任あずさ監査法人」に送付してください。

なお、回答フォームのファイル形式は変更しないでください。

【提出先・問合せ先】

有限責任あずさ監査法人(県事業委託先)

電子メールアドレス:Aichi-Carbon-Neutral_Office@jp.kpmg.com

【その他】

提出いただいた新技術等について、有限責任あずさ監査法人から問合せすることがあります。

提出いただいた新技術等は、有限責任あずさ監査法人が受託している、「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト概略検討調査業務委託」の検討において、矢作川カーボンニュートラルプロジェクトにおける取組の全体像を作成するうえで活用するものであり、愛知県と提案者の間に契約関係を発生させるものではありません。

【入力上の注意】

入力フォームは、①公開用 ②非公開用 の2種類に分かれています。

①公開用は、公開可能な情報のみを記載してください。

②非公開用は、愛知県及び事務局における検討に活用させていただきます。

入力フォームは、「新技術等の記載要領」及び入力例を参考にして入力してください。

添付資料がある場合は、公開の可否を明記の上、入力フォームとともに提出ください。

(容量の上限は37MBです)

新技術等の記載要領

1. 技術名

- ・技術の名称を記入してください。

2. 技術分野

- ・(1) 河川 (2) 既存ダム活用 (3) 森林保全 (4) 農業施設 (用水路、ため池等)
(5) 水道及び工業用水道施設 (6) 下水道施設のうち、どの分野のカーボンニュートラルの実現に寄与するかを選択してください (複数選択可)。

3. 技術の区分

- ・当該技術がカーボンニュートラル実現に向け、その区分に該当するかを選択してください (複数選択可)。
 - 省エネ：省エネルギーに資する技術
 - 創エネ：水力・太陽光・バイオマスによる発電に係る技術 (風力発電は対象外)
 - その他：CO₂ 吸収等に係る技術。具体的に記入してください。

4. 技術の概要

- ・技術の概要をできる限り簡潔に記入してください。

5. 技術のアピールポイント

- ・技術の強みや特長を記入してください。

6. 導入実績

- ・技術の導入実績を国内・海外に区分して記入してください。可能な範囲で施設名・事業所名を記入してください。
- ・導入実績が多数ある場合は、代表的な実績を記載の上、導入件数を記入してください。

7. 概算収支

- ・イニシャルコスト、年間のランニングコスト、年間の収入について概算を記入してください。

8. カーボンニュートラルへの貢献

- ・温室効果ガス削減量：二酸化炭素削減量、二酸化炭素以外の温室効果ガス削減量を区分して記入してください。
- ・再エネ：再生可能エネルギー発電量を記入してください。また、該当する電源を選択してください (複数選択可)。複数の電源を選択した場合は、電源毎の発電量も記入してください。
- ・省エネ：電力削減量、その他エネルギー削減量を区分して記入してください。
- ・CO₂ 吸収：CO₂ 吸収量を記入してください。
- ・その他：その他カーボンニュートラルへ貢献する事項について記入してください。

9. その他環境負荷削減効果

- ・8以外の環境負荷削減効果がある場合、その内容を記入してください。ない場合は、「なし」と記載してください。

10. 災害時への貢献

- ・災害時への貢献が想定される場合、その内容を記入してください。ない場合は、「なし」と記載してください。

11. その他効果

- ・業務の効率化、安定的な運転等、8、9及び10以外の効果について記入してください。

12. その他社会課題解決への貢献

- ・8、9、10、11以外に、社会課題の解決に貢献する場合、その内容を記入してください。

13. 導入条件

- ・技術を導入する場合の条件について記入してください。

14. 事業者名・連絡先

- ・①公開用については、事業者名を記入してください。
- ・②非公開用については、事業者名、部署名、担当者名、電話及びEメールを記入してください。

【入力例】

1. 技術名	XXXX		
2. 技術分野	<input type="checkbox"/> 治水対策 <input type="checkbox"/> 既存ダム活用 <input type="checkbox"/> 森林保全 <input type="checkbox"/> 農業施設 <input type="checkbox"/> 水道・工業用水道 <input type="checkbox"/> 下水道		
3. 技術の区分	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 創エネ <input type="checkbox"/> その他（具体的に ）		
4. 技術の概要	XXXX を利用した再生可能エネルギー発電		
5. 技術のアピールポイント	天候に左右されず、常に一定の発電ができ、高い発電効率（○%以上）を確保している。		
6. 導入実績	<input type="checkbox"/> 国内（XX 都道府県XX <input checked="" type="checkbox"/> 市町村 XX 浄水場を含む計○件） <input type="checkbox"/> 海外（国名・地域名： ）		
7. 概算収支	イニシャルコスト XX 万円	ランニングコスト XX 万円/年	収入 XX 万円/年
8. カーボンニュートラルへの貢献	温室効果ガス削減量	XXt-CO ₂ /年 二酸化炭素削減以外の効果がある場合は、具体的に記載ください（なし ）	
	再エネ	再エネ発電量 XXkwh/年	電源 <input type="checkbox"/> 太陽光 <input type="checkbox"/> 水力 <input type="checkbox"/> バイオマス <input type="checkbox"/> その他（具体的に ）
	省エネ	電力削減量 その他エネルギー削減量	XXkWh/年 なし
	CO ₂ 吸収	CO ₂ 吸収量	なし t-CO ₂ /年
	その他	電力平準化へに寄与する。	
9. その他環境負荷削減効果	廃棄物発生量の削減（○トン/年）効果がある。		
10. 災害時への貢献	長時間停電時の補助電源としての利用することができる。 二次電池使用による市民の給電サービスへの活用が可能となる。		
11. その他効果	業務の効率化・省力化に寄与する。XX により安定的な運転が実現できる。		
12. その他社会課題解決への貢献	XXXX		
13. 導入条件	発電機の設置場所（○m×○m×○m）を確保する必要がある。		
14. 事業者名	○○社		